

感想
「ごみが多い」と感じたみなさん
歩道沿い、公園ベンチ周りには吸い殻が目立つ。大学女子駅伝という事で西公園通りの清掃活動も行った。(あおみ建設(株)東北支店さん)
依然として、買い物袋(プラ容器)が多いとのこと。「ポイ捨ては=犯罪=」の表示を徹底することです。(Sさん)
いつもごみ袋(大)で5~6袋になります。相変わらず缶・ペットボトル・紙パック、吸い殻、菓子パッケージ、傘等のごみの種類が多い印象です。(サッポロビール(株)東北本部さん)
幹線道路に面した店舗前の歩道は綺麗でごみが少なかったですが、交差点や自販機の周り、路地や駐車場の入り口などにはたばこの吸殻が多く落ちていました。((株)富士通ビー・エス・シー 仙台開発センターさん)
国分町付近には道路にたばこの吸い殻が多い。(キリンビバレッジ(株)東北本部さん)
公園には予想していた通りちらばっていた。(う~ママさん)
弊社周辺は日ごろから、比較的クリーンなイメージを持っていたし、前日の風雨の影響もあるかもしれないが、今回まで何回かを比較しても、多い印象を受けた。また、周辺に会社が多く点在しているためか、宅配等の荷捌き時に出たと思われるごみが目立っていた。そのうえ、依然としてたばこの吸い殻や空き箱などのポイ捨てと思われるごみも見受けられた。もっともっと市民一人ひとりが環境やエコに対する意識をしっかりと持ち、実践して、いつまでも「仙台のまちは、いつでもに行ってもきれいだ。」と言われる町であり続けたいですね。(五洋建設株式会社 東北支店さん)
定期的に清掃しているため、いつもごみの量は変わりなかったが、吸い殻や空き缶、ペットボトルのごみが多いように感じた。(第一学院高校仙台キャンパスさん)
実際は2袋ですが、寝具を拾ってたまたま袋に入ったのでこの量になりました。(高松アレマさん)
「ごみが少ない」と感じたみなさん
登校途中なので、安全第一に歩道を中心にクリーン活動を行いました。予想していたよりも、ごみは少なかったのですが、ほとんどの児童が意欲をもってごみを探すことができました。(やぎなんさん)
今まで大倉ダムの清掃作業に何回か参加させていただいておりますが、一番ごみの少ない清掃活動だったように思われます。キレイな環境が維持されることもごみを減らす要因になると思われまますので、この状態が続いて行けば嬉しいと思います。(水辺クリーンの会 仙台ガス水道工業さん)
ごみが年々少なくなっているように感じます。吸い殻等は、健康志向でほとんどなくなっているように思います。ごみがかたまって捨ててあるので、捨てやすい環境の場所があるようです。(水辺クリーンの会 本山振興さん)
神社境内までの階段、その周辺道路の清掃を行いました。以前清掃した時に比べるとごみの量はほとんどなかったと感じられます。ポイ捨てしにくい環境ができていると感じられました。(水辺クリーンの会 ユーワ技研さん)
「今後も続けたい」と思うみなさん
とても親しみのある公園なので今後も続けたい。(ガッチやいさん)
朝方、雨が降っていたが、清掃活動の時間に雨が止み清掃活動を予定通り行うことができました。今後も引き続き地域清掃活動を続けていきたいと思ひます。(西松建設(株)北日本支社さん)
毎月清掃していますが、今回はアレマ隊員証をつけて清掃しました。意識の向上にもつながり、次回以降も継続していきます。(明治安田生命保険相互会社仙台支社さん)
前回同様たばこの吸い殻が目立ちました。今後もテナント参加者と引き続き活動していきます。(ララガーデン長町さん)
前回、回りきれなかった箇所の清掃を重点的に実施しています。沿岸沿いの幹線道路・植栽にはたばこの吸い殻と思われるごみが多くありました。今後も計画的に清掃活動を実施し、地域美化に取り組んで参ります。(三井アウトレットパーク仙台港さん)

感想
ごみはなかったが、落ち葉や小枝が通路に散乱しており、その除去作業を行いました。これからも定期的に清掃し、通路(階段)を確保していかなければと思います。(水辺クリーンの会 佐静建設さん)
何かを発見した・気づいたみなさん
定期的に清掃活動している人を見かけている。(ガツヤンさん)
参加2回目。あすと長町の「Sendai PIT」西側高架下道路付近に菓子袋、コンビニのチキン袋、タバコが普段でも目に付く。イベント参加者??歩行者?? 不明。(Tさん)
毎月1回実施していますが、本日はいつもよりごみの量が少ないと思いました。(サイト工業(株)さん)
前月(9月)は雨が多かったので雑草の伸びが激しかった。(中田西部地区老人クラブ連合会さん)
普段は地域の方が清掃しているのであまりごみが落ちていないが、休みの日の朝はごみが少し多いと思った。自分たちもおかしのごみを落としているかもしれないので、気づきたいがたばこのポイ捨ても多かったので大人にも気づけてもらいたい。(向山小学校さん)
今回は思ったより少なかったが、ポイ捨てをする人は減らないと感じた。空き缶、ペットボトルが特に多い。(大成ロテック(株)宮城事業所さん)
幹線道路から少しはなれた小道とか、草が生えている所にあった。(う～ママさん)
ごみ拾いしている住人が何人かいるようです。(Iさん)
子供たちの飲み食いした残がいかが散らばっています。(Iさん)
往来する車が多く、清掃はほとんどなされていません。(Iさん)
何年も清掃活動は続けてますが、他社の方など清掃する人が増えたように感じます。その中で、「ご苦労様」など声をかけていただくことがあり、嬉しく思います。(明治安田生命仙台広瀬通営業部さん)
収集の絶対量は減少している。相変わらず、タバコの吸い殻が5割超。人家のない環状線、バス通りが多い。(南一クリーンクラブさん)
レジ袋に入ったままのおにぎり・サンドイッチの袋・ペットボトルが目立った。缶・ペットボトルは少なくなった。(Kさん)
気持ちよくごみ拾いをしたみなさん
西中山連合町内会主催の「西中山地区朝清掃」に共催として市民センターも講座として参加。子供達の参加促進のためビンゴ大会し、盛り上がった。(南中山市民センターさん)
ごみ拾いをする事で、街が綺麗になっていく感覚を自分なりに感じられて心地良い活動だった。また、たばこ関連のごみが多く、歩きたばこの方も見かけるため(一部、ベンチで携帯灰皿持参の方もいる)、歩行喫煙防止条例が施行された事を認識して行動して欲しいと感じた。(mstkymtさん)
走行中のドライバーより、(恐らく)清掃活動に対する謝意として、頭を下げられる場面があり恐縮しました。(水辺クリーンの会 北栄工業所さん)
天候、気候共に良好のため、すがすがしく清掃をする事が出来ました。(水辺クリーンの会 中央管工事さん)
残念な気持ちになったみなさん
たばこ等を捨てるのは最低です。(Tさん)
子供がたばこのごみが多いねって言っていた。自然に還らないので環境に悪い。(cohtimさん)

感想
マナーについて考えるみなさん
定期的に町内清掃しても心ない方がごみを捨てることにとても寂しく思います。こういった方のモラルが少しでも改善されるといいのですが・・・。(T・Sさん)
食べ歩き、飲み歩きする人のマナーが悪い、飲み残しがあると不潔。(みほさん)
タクシーやバスなど停車していたような幹線につながる道路にごみが多かった。(ゆうトロさん)
交差点にたばこの吸い殻が多い印象がありました。(ゆうトロさん)
提言・行動報告
まず、自分が捨てない。目の前のごみはすぐ近くのごみ箱へ。(ガッチやいさん)
いつまでもごみを放置しないこと。見つけたらすぐ拾う。(ガツヤンさん)
1 見える化の促進(1)ポスターの貼りだし(2)掲示板の設置 2 声掛け運動の実施 (1)街頭での声掛け (2)ちらし等の配布 (サイト工業(株)さん)
キレイにしても翌日にはすぐにごみが散らかっているのが現状です。こういった事をしてはいけない！！と反面教師に子供達とあきらめずに日々ごみ拾いをしています。子供達もごみ拾いがとても好きで「今日のごみ拾いしないの？」とお休みの日には、親に声をかけてくれます。心ない方がいる世の中ですが、こういったモラルのない子供にならないよう&公園がキレイでありまうようにという一心でキレイにしていく次第です。仙台市にポイ捨て等に関する少し厳しい条例が出来ると嬉しいなと思う今日この頃です。(T・Sさん)
定禅寺通り側は割と少なかったが国分町周辺は多かった。夜間などに捨てられているのかと思う。ポイ捨て禁止の看板をもう少し目立つ様に設置する、定期的に美化活動をボランティアを行う、周辺の飲食店とも協力してイベント化するなど一人一人が自分のこととして考えられるような仕組みを作った方が良いと思う。(キリンビバレッジ(株)東北本部)
たばこのポイ捨て→人家のない道路沿い、バス停付近が大半。先日、久し振りにバスに乗ったら、車内放送でたばこのポイ捨て？防止を呼び掛けるアナウンスしていた。手段として良い方法だと思いました。特に小学校の授業にごみの話(ポイ捨てについて)を行う。→子供が親に話す。→とはいっても最後は個々人のモラルですね。(南ークリーンクラブさん)
水辺クリーンの会 ・きれいな周辺環境の維持。 たばこの吸い殻の割合が多いように思えたので喫煙者のモラルの向上。(仙台ガス水道工業さん) ・左岸部分には「ポイ捨て禁止」などの看板が見当たらなかったのも、何力所かに設置しても良いと思った。(伊藤工業所さん) ・清掃をして「ポイ捨て禁止」等の看板がもっとあっても良いと思います。 ・今回は、同じジュース缶が多かったです。(本山振興さん) ・ボランティア活動を続けることにより、地域を利用する人などに対しての啓発活動につながると思う。(渡辺建設工業さん) ・毎年二回の清掃活動で思うことは、確実にごみは減っている。という事です。それはポイ捨てすることは愚かで恥ずかしいという事だが少しずつ浸透しているからです。そのために我々は捨てる人を非難したり、その心を追及するのではなく、毎年二回落ちているごみを拾い続けましょう。そしていつの日か拾うごみが無くなることを願い続けましょう。ただひたすら拾い続ける。これがポイ捨てを無くす唯一の方法だと信じて。(中央管工事さん) ・年々ごみ量が減っているのは、活動を継続している事に起因しているものと思います。 従来の清掃活動を継続し、綺麗さを保ちポイ捨てをしにくい環境を維持する。(ユーワ技研さん) ・清掃活動の継続と注意看板増設、鳥居(TVでみたことある)設置。 やはり子供のころからのしつけが必要だと思う。親がだめなら、幼稚園、小学校でのモラル向上を！(佐静建設さん)